

令和6年度

スマホ等の利用等に関する状況調査の結果について



- ・インターネットの利用は、日常生活の中に定着している
- ・電子機器の利用について、各家庭でルールを工夫している
- ・スマホを持たせてよかった点、心配な点の両面がある
- ・スマホによるトラブルに巻き込まれた事例がある
- ・フィルタリングを利用している家庭が増えている



市P連では

「市内統一事項」の徹底と「わが家のルールづくり」を進め、成長に合わせた段階的使用を通して、正しい情報モラルの習得、健全な生活リズムの確立のための体制づくりに努めています。

豊川市小中学校PTA連絡協議会

令和7年3月

状況調査 概要

現在、子どもたちの生活の中にはインターネットはごく普通に存在し、その利用は定着しつつあります。そのなかで、インターネットの長時間利用による心身への影響やネットによるトラブルなどの課題として挙げられているのも確かです。今年度も、インターネットの利用の目的や利用時間、スマホの所持率以外にも、各家庭でのルールやスマホを持たせて良かったことや心配なこと、トラブルの有無、フィルタリングの有無についても焦点をあてて調査をしました。また、保護者のスマホ利用についても調査をしました。

1. インターネットの利用状況

(1) 利用の有無

○小学生の利用状況は増加傾向がみられるが、昨年度、ほぼ100%だった中学生がわずかが利用しない生徒の存在がみられる

利用の有無(R6)

学年	小2	小4	小6	中1	中2	中3	小学計	中学計	全体計
回答数	279	318	351	153	195	177	948	525	1473
利用している	95.3%	95.9%	98.6%	98.0%	99.5%	99.4%	96.7%	99.0%	97.6%
利用していない	4.7%	4.4%	1.1%	2.0%	0.5%	0.6%	3.3%	1.0%	2.4%

利用の有無(R5)

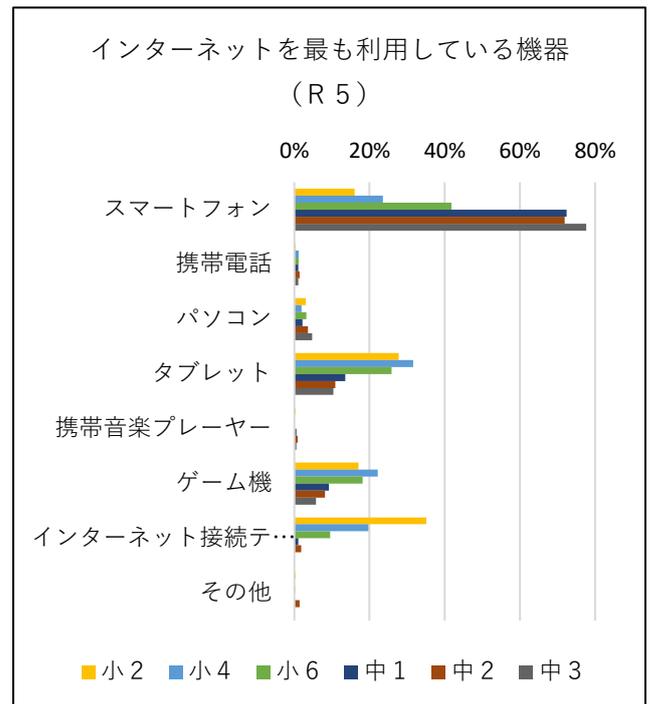
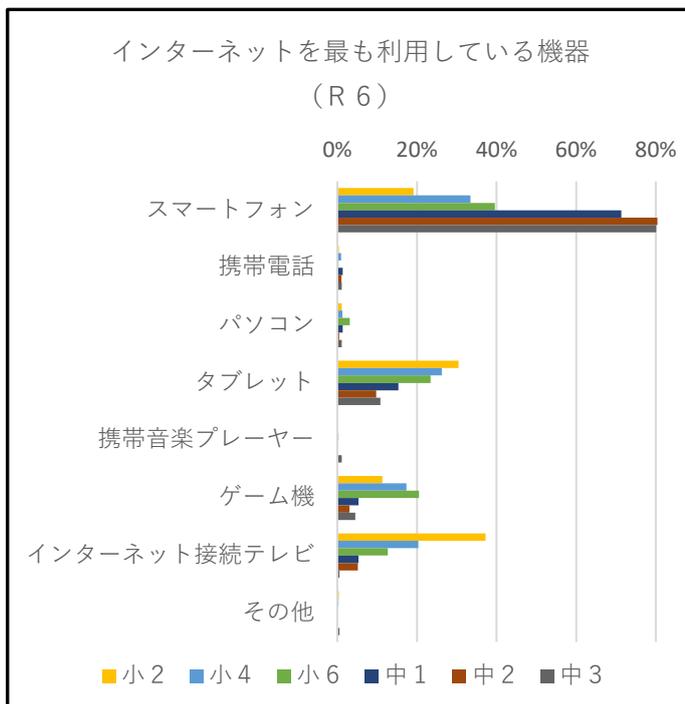
学年	小2	小4	小6	中1	中2	中3	小学計	中学計	全体計
回答数	323	373	445	185	221	194	1141	600	1741
利用している	92.6%	96.8%	98.9%	100.0%	100.0%	99.0%	96.4%	99.7%	97.5%
利用していない	7.4%	3.2%	1.1%	0.0%	0.0%	1.0%	3.6%	0.3%	2.5%



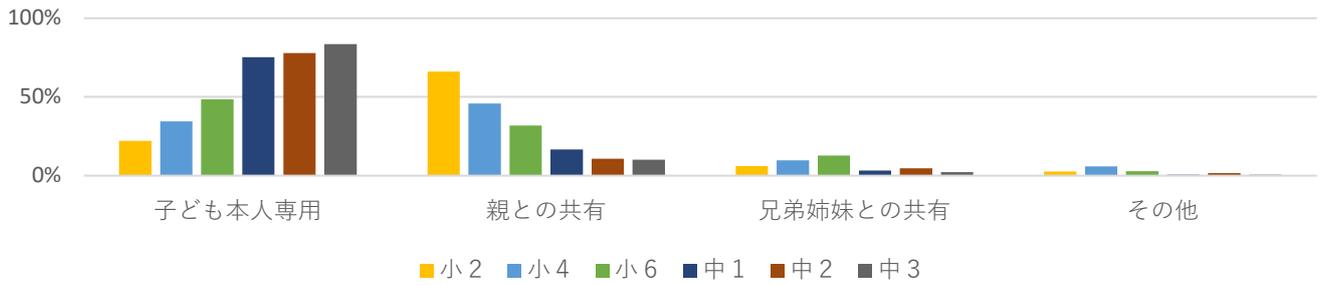
(2) インターネットを最も利用している機器とその所有者

○小中学生ともにスマートフォンが1位、タブレットが2位、3位は、小学生がインターネット接続テレビ、中学生がゲーム機となっている。

○機器の所有者は、小学校では「親との共有」、中学校では「子ども本人専用」の割合が一番高くなっている。



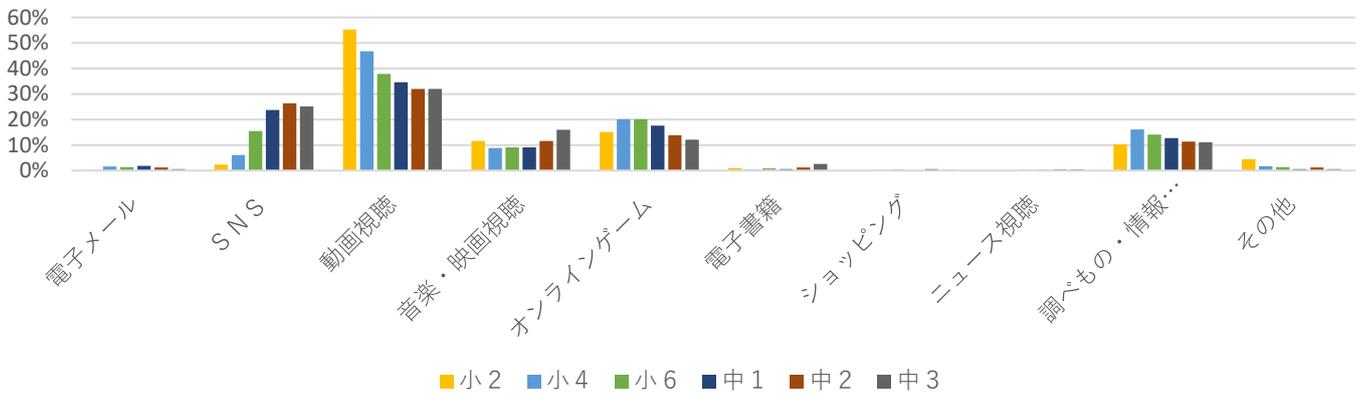
インターネットを最も利用している機器の所有者（R 6）



(3) 利用の目的

- 小中学生すべての学年で、動画視聴が1位となっている。
- 動画視聴以外では、小学生ではオンラインゲーム、中学生ではSNSの割合が高くなっている。

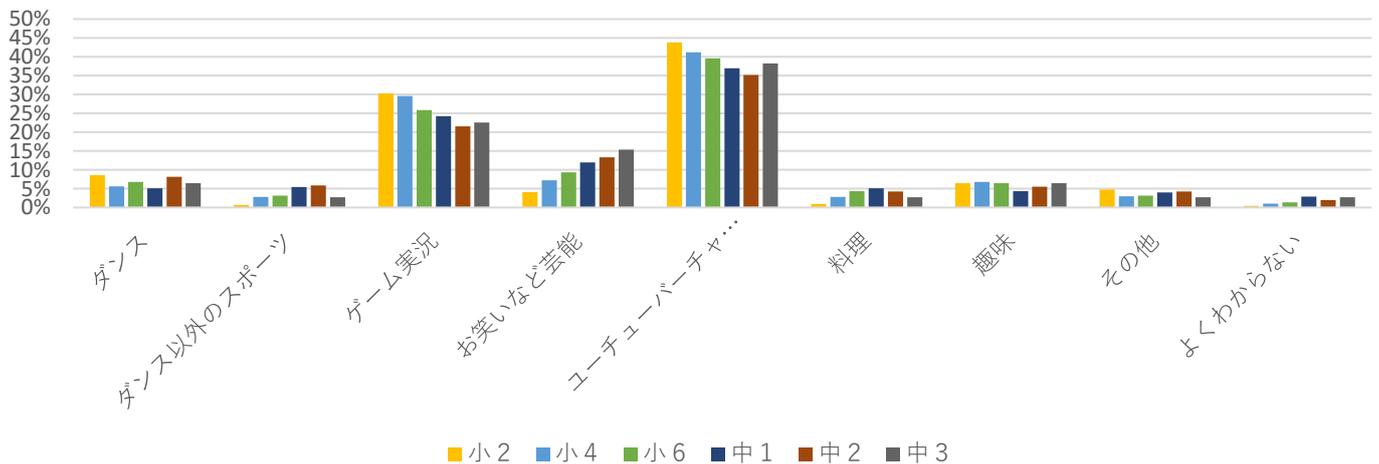
インターネットの利用目的（R 6）



(4) 動画視聴の内容

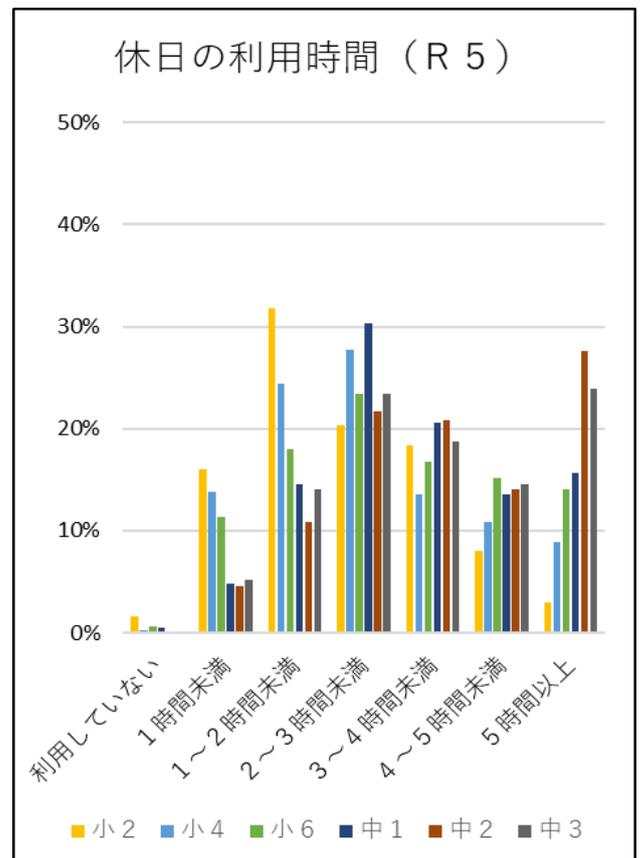
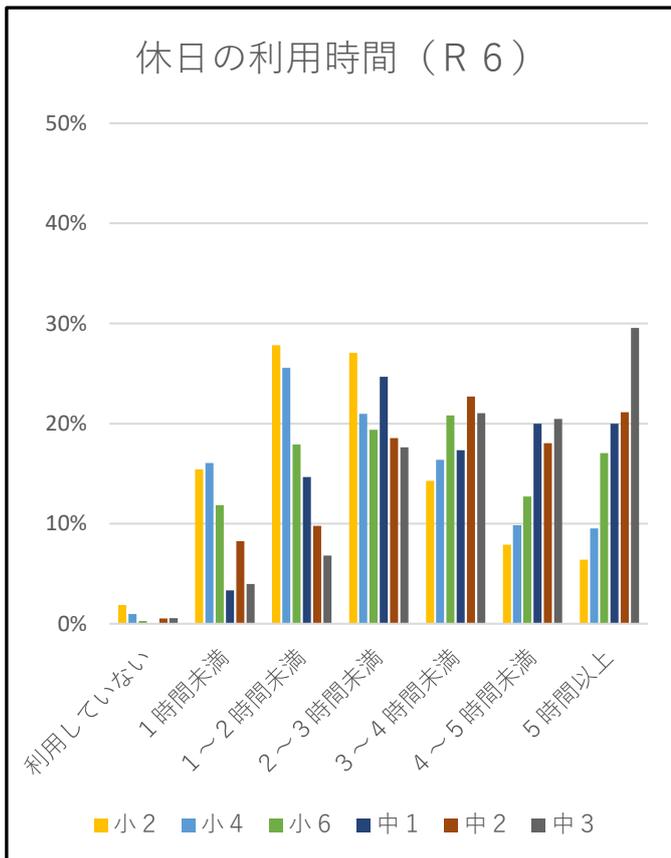
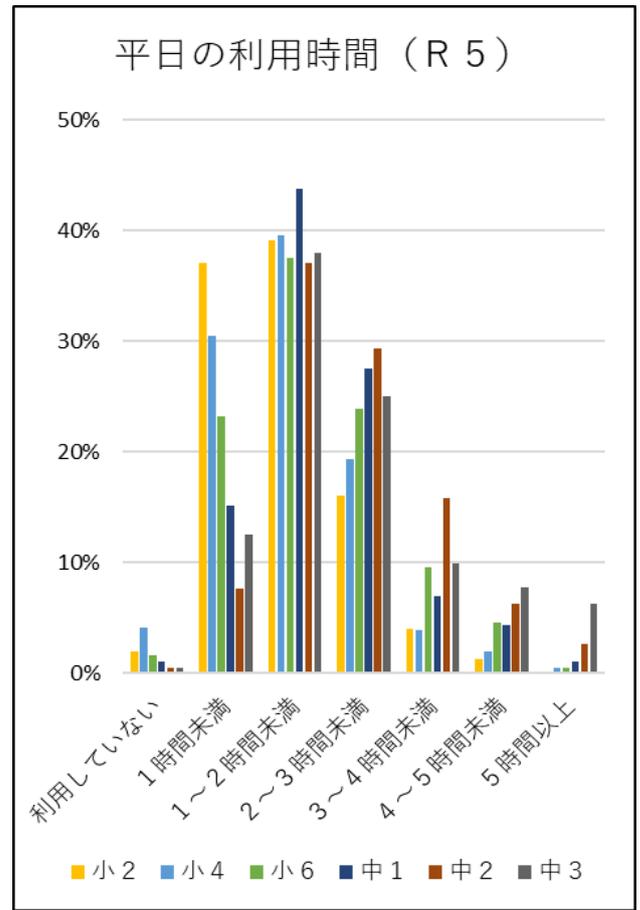
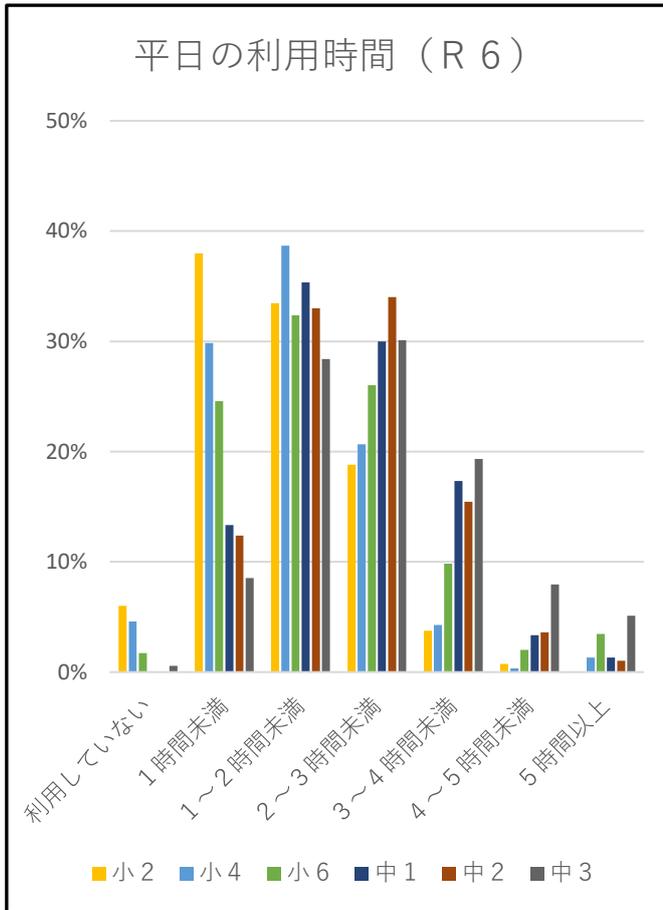
- 小中学生ともに、「ユーチューバーチャンネル視聴」の割合が高くなっている。
- 小学生では、「ゲーム実況視聴」の割合も高くなっている。

動画視聴の内容（R 6）



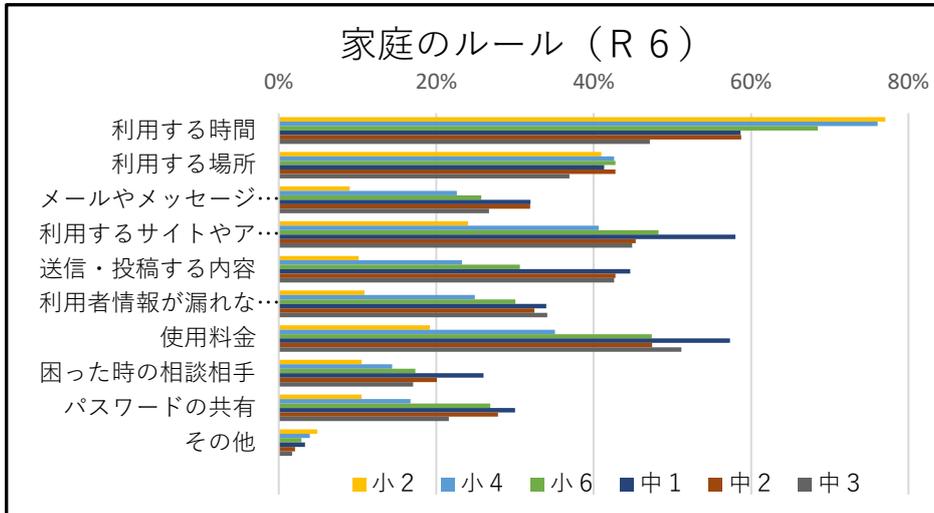
(5) 利用時間

- 平日よりも休日の方が利用時間において長時間にわたる傾向がみられる。
- 平日の利用で、小中学生ともに2時間未満が多く、中学生は3時間未満も多くなっている。
- 休日の利用で、中学生の20%近くが5時間以上の利用となっている。



(6) 利用についての家庭でのルールとその決め方

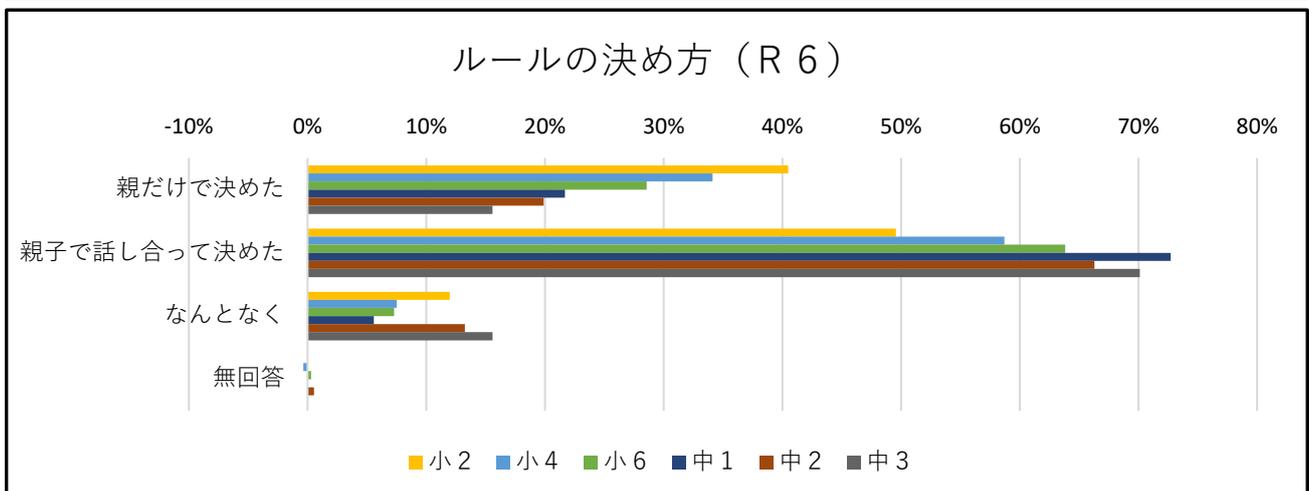
- ルールの内容は小中学生ともに、「利用時間」、「場所」、「サイトやアプリの内容」、「使用料金」についての割合が高くなっている。
- 中学生では、「送信・投稿する内容」や「利用者情報が漏れない対応をしている」家庭も多い。
- 小中学生ともに、「親子で話し合っている」家庭が多い。



◇その他

- 小学生：
- ・宿題（習い事・学校）が終わってから。
 - ・目から30cmは、離す。休みなく見ていたら目を休める。
 - ・SNSや課金が必要なものは親の承認なしに実行できないように設定。
- ★隠れてみない。（時間を決めても、隠れてみていることが多いから）
- 中学生：
- ・SNSは、視聴のみで投稿しない。
 - ・21時以降使用禁止。
 - ・寝るときはそばに置かない。
 - ・本人が勝手に使えないように親が管理。
- ★ルールを決めても全然守りません。

学年	小2	小4	小6	中1	中2	中3	小学計	中学計
何らかのルールがある家庭	91.0%	96.1%	95.1%	95.3%	93.3%	87.5%	94.2%	91.9%
特にルールは決めていない家庭	9.0%	3.9%	4.9%	4.7%	6.7%	12.5%	5.8%	8.1%



☆我が家独自のルール＜抜粋＞

小学生

- ・ SNSはやらない。ゲームは1時間。
- ・ 食事中はさわらない、見ない。
- ・ 9時以降は使わない、寝室に持ち込まない。守れなかったら即没収。
- ・ 宿題、習い事の課題が終わってから使用。
- ・ 隠れて見ない。ルールが守られないときはすぐに没収。
- ・ 勝手に写真を送ったり、悪口を言ったりしない。
- ・ 1時間使ったら目を休める時間を作る。

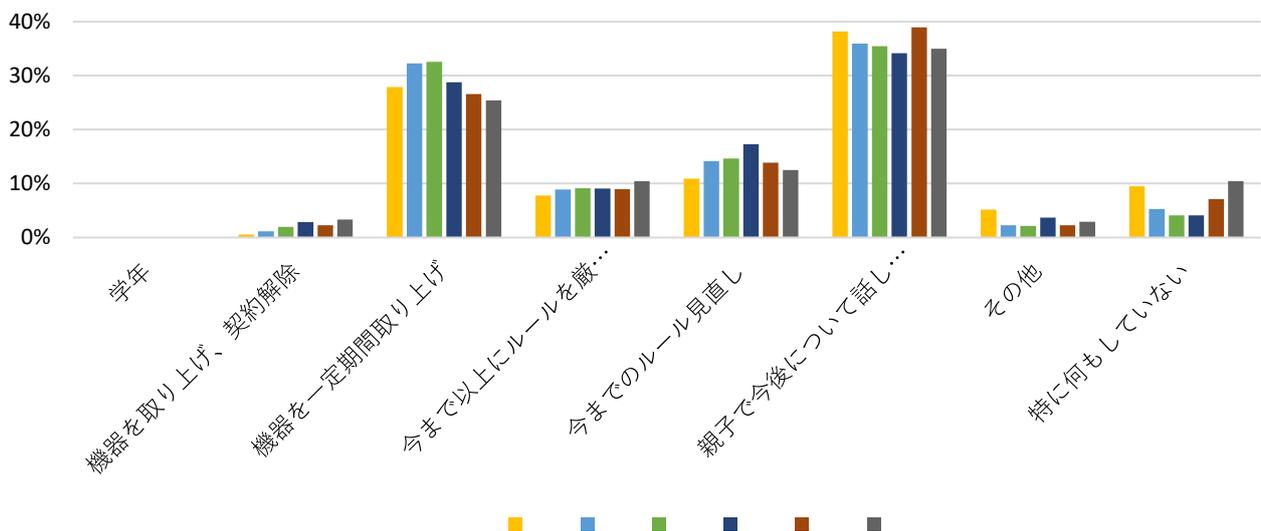
中学生

- ・ 居間で使う。トイレと寝室に持ち込まない。1時間使ったら目を休める。
 - ・ 課題を終えてから使用。テスト週間中はスマホ、ゲーム禁止。
 - ・ 推しのグッズ交換はお互いの親同伴。課金はしない。
 - ・ ネット情報を鵜呑みにしないこと。
 - ・ 学校の友達とは、スマホでやりとりしない。
- 毎月1回、家族会議を開きスマホの使い方を振り返る。
○自分のスマホは、高校受験が終わるまで持たせない。

(7) ルールが守られない時の対応

- 小中学生ともに、「親子で今後について話し合う」の割合が最も高く、「機器を一定期間取り上げる」「今までのルールを見直し」が続いている。
- 昨年と比べて、「特に何もしていない」家庭も増えている。
- 「その他」では、リスクを理解させながら話し合うという家庭もあった。
- 現在は守られているので、特に決めていないという家庭もあった。

ルールが守られないときの対応 (R 6)



◇その他＜抜粋＞

- 小学生：
- ・ タブレットのパスワードを変更し、勝手に見れないようにする。
 - ・ リスクについてのユーチューブを親子で見て話し合う。
 - ・ 使用時間を強制的に制限する（ロックする）。
 - ・ 学校からタブレット持ち帰り禁止。
 - ・ どうして守れなかったか、今後どうすれば守れるか話し合う。
- ☆守れなかったことがない。

- 中学生：
- ・取り上げて話し合う。
 - ・今すぐ使うのをやめるように促す。
 - ・最近の利用の仕方はどうなの？と声をかけて考えさせる。
 - ・なぜルールを作ったかを話し、注意をする。
 - ・ロックする。

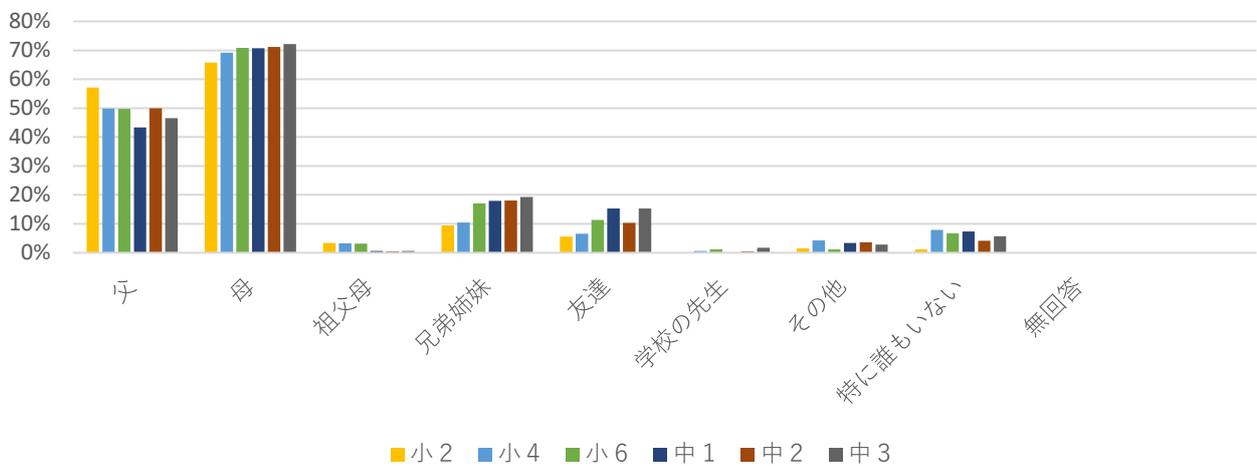
☆守れない無理なルールにせず、安全に使用でき守れるルールを検討。

★スマホを取り上げようとしたり、契約解除しようとしたら、母親に暴力をふるうようになった。シリコンバレーのように14歳までは禁止が良い。

(8) インターネット利用中に困ったときの相談相手

- 小中学生ともに、「両親」に相談する割合が高くなっている。「母親」の方がやや多い。
- 中学生では、1割程度が「友達」に相談していることがわかる。

ネット利用で困ったときの相談相手 (R6)



◇その他

小学生： 家族全員、叔母、叔父

☆特に困り事はないため相談相手はない

中学生： 従兄弟、家族間

- ◎ インターネットの利用は、日常生活の中に定着
- ◎ インターネットの利用目的は、動画視聴をはじめ多様化
- ◎ インターネットの利用時間は、休日において長時間利用
- ◎ 9割を超える家庭が利用時のルールを設定しているが、なかなか守られていない状況

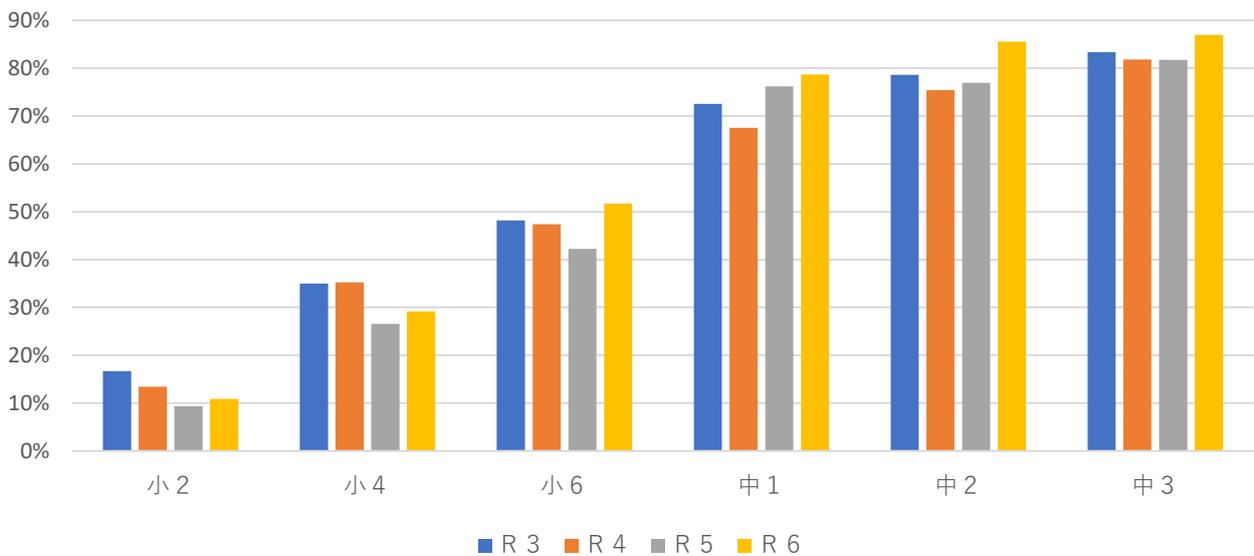
2. スマートフォンの所持

(1) スマートフォンの所持状況

- 小中学生ともに、スマホの所持率は昨年度より高くなっている。
- 中学校へ進学することをきっかけに、携帯・スマホを所持する人が多い。

スマートフォンの所持状況（R 3～6）

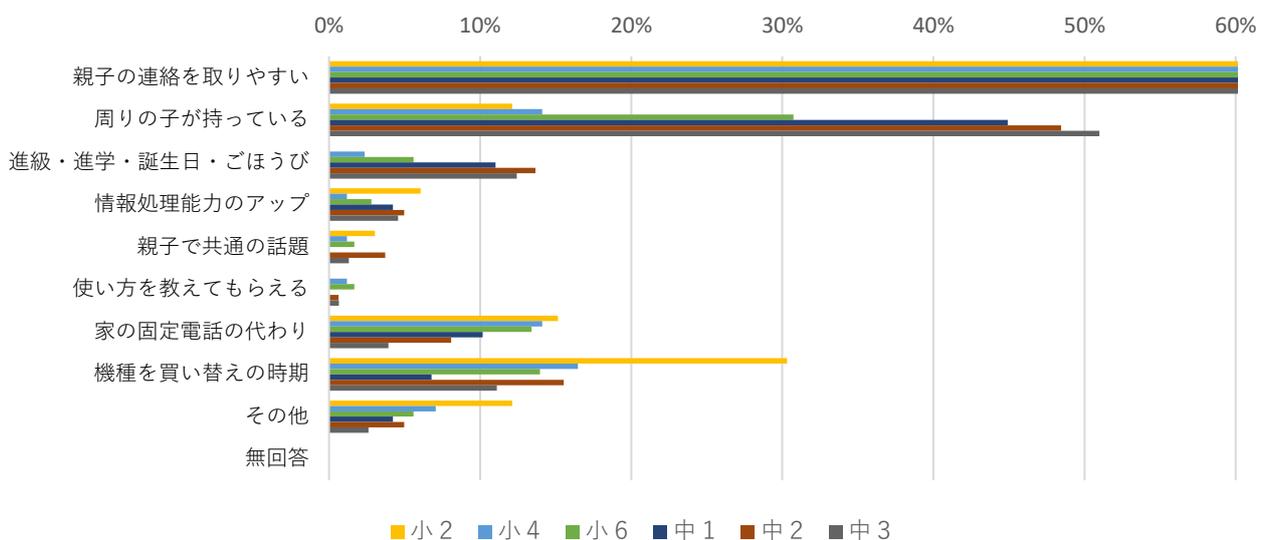
* R 3・4は、携帯も含めた調査となっている。



(2) 持たせた理由

- 小中学生ともに、「親子の連絡を取りやすい」の割合が最も高い。
- 中学生では、「周りの子が持っている」ことも所持のきっかけとなっている。
- 小学生では、「機種買い替えや」「固定電話の代わり」の理由も目立つ。
- 「その他」では、子どもの安全確認や緊急連絡のための理由のほかに、オンラインによる授業や宿題、ヒアリング、練習、スケジュール確認など塾や習い事に関する意見も多い。また、使い方を覚えるために持たせている意見もあった。

持たせた理由（R 6）



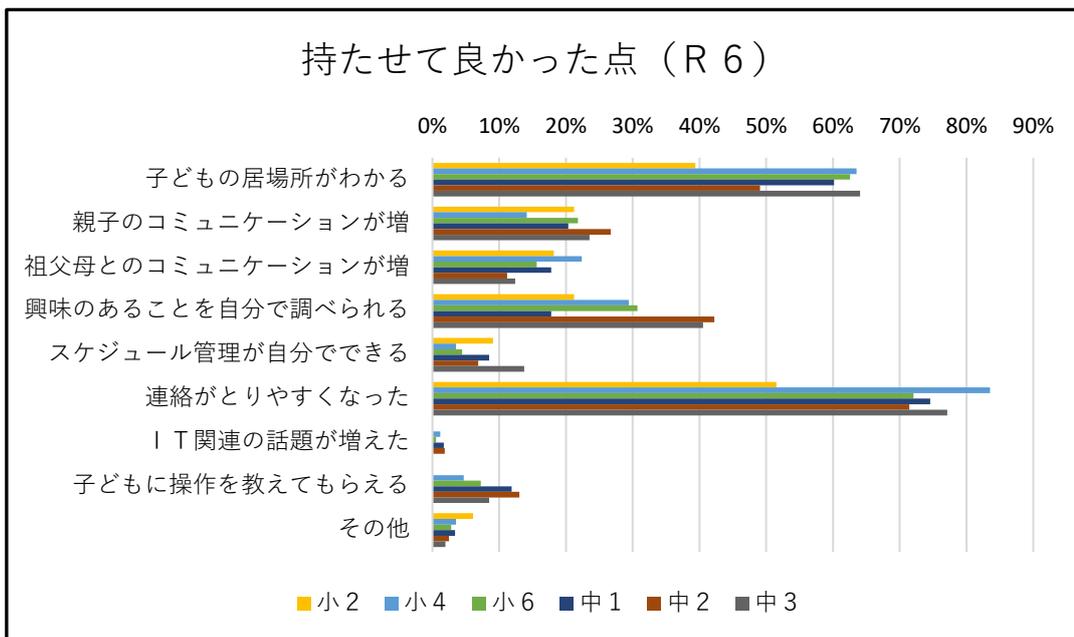
◇その他＜抜粋＞

- 小学生：
- ・家が遠いので緊急連絡用。
 - ・医療機器として
 - ・塾の宿題がオンライン。習い事（ダンス）の練習のため。
 - ・体調が悪くなった時、すぐ連絡がとれるように
 - ・共働きで時短勤務ができなくなったため。

- 中学生：
- ・ 習い事で必要だった。（スケジュール確認、コーチとの連絡）
 - ・ 英語のヒアリングで必要だったため。
 - ・ 塾のオンライン授業で必要になったから。
 - ・ 子供同士の約束や連絡手段のため、双方の親や無関係の友人を経由する場面が増え周りに迷惑をかけないため、仕方なく。
- ☆スマホの使い方を覚えるため。

(3) 持たせてよかった点

- 小中学生ともに、「連絡がとりやすくなった」や「子どもの居場所がわかる」の割合が高くなっている。
- 「興味のあることを調べられる」中学校1年を除き、割合が高くなっている。
- 親・祖父母との「コミュニケーションの増」にスマホの所持が影響していることがみられる。

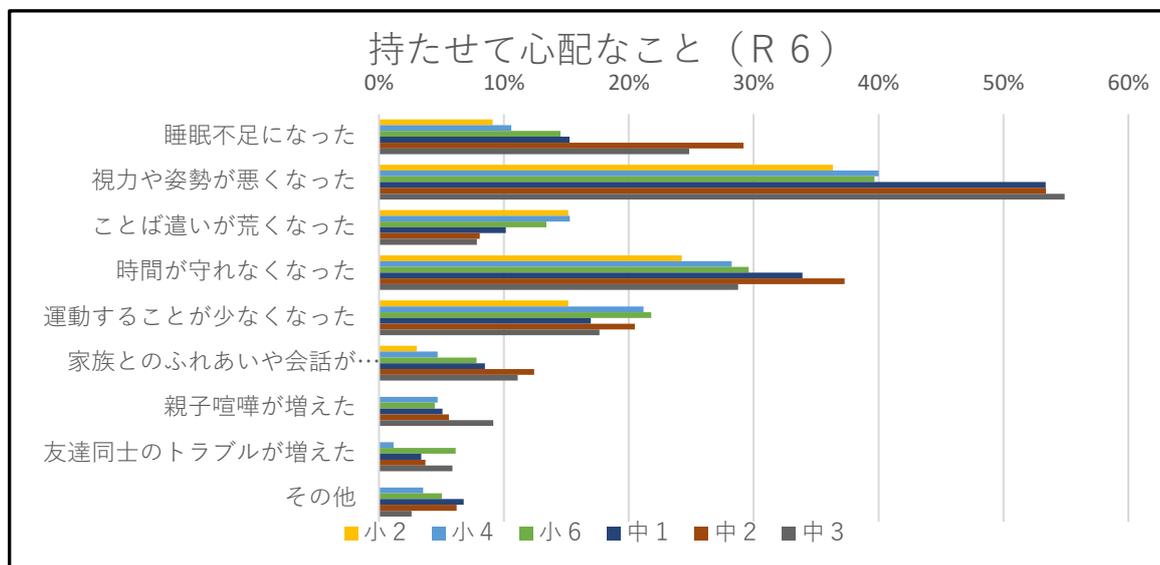


◇その他

- 小学生：
- ・ スマホを見ている間に家事ができる。
 - ・ 遠方にいる従妹と連絡が取りやすくなった。
 - ・ 親のスマホを借りなくなった。
- 中学生：
- ・ 自分の行動や行為に責任を持つように少しずつ意識させることができる。
 - ・ YouTube等で知るのか、意外に政治、世界情勢のことを知っている
 - ・ 海外の友達ができた。
 - ・ 学校外の友達が多いので、気軽に連絡が取れるようになった。本人の社会 での存在や居場所が広がっていると感じる。

(4) 持たせて心配な点とその対応

- 小中学生ともに、割合の最も高い「視力や姿勢が悪くなった」に加え、「睡眠不足」や「運動することが少なくなった」のように健康に関する回答の割合が高い。
- 小中学生ともに「時間が守れなくなった」との回答の割合も高い。
- 「その他」では、勉強への集中力、長時間の使用による脳への弊害、LINE等によるトラブルや閲覧内容を心配する声があった。



◇その他<抜粋>

- 小学生：
- ・宿題、勉強への集中力が散漫になった。
 - ・スマホを触っている時間が増えた。
 - ・友達とLINEのメッセージでトラブルはないか。
 - ・親の知らない人とのやりとり。
 - ・スマホに憑りつかれた。
- 中学生：
- ・LINEで嫌がらせ文章やボイスメッセージが送られてきた。
 - ・ながら作業が増えた。(携帯を観ながら)
 - ・ルールを踏み倒そうとする。
 - ・年齢的に不適切なサイトや番組を見ていないか。
 - ・白髪が増えた。(ブルーライトの影響)
 - ・前頭前野が衰え、感情がコントロールできず、すぐキレルようになった。
 - ・勉強に集中できない。
 - ・知らない人たちのグループLINEに入って会話していた。

【対応方法】<抜粋>

小学生

- ・体操教室に通わせた。
- ・画面が近かったり、姿勢が悪かったらその都度声をかける。
- ・親も携帯ばかりに頼らず、お互いに使わずに会話するように心がける。
- ・親のスマホから時間制限をする。
- ・一緒にストレッチをする。
- ・アプリを使って、使える時間を強制的に管理。
- ・親子で話し合い、リビング以外での使用を禁止した。

中学生

- ・担任の先生に報告し、情報を共有した。
- ・家族で話し合い。

- ・姿勢矯正の体操を一緒にやる。
- ・課金しない、投稿しない、「いいね」もしない、閲覧と連絡のみ。
- ・説明しても改善されなければ、ロックをかけて物理的に使用不可にする。
- ・親のスマホと連携させて、使用時間やアプリを制限できるようにした。
- ・自分や家がわかる写真はアップしない。友達の情報も含む。
- ・事あるごとに使い方などをよく話し合うようにしている。

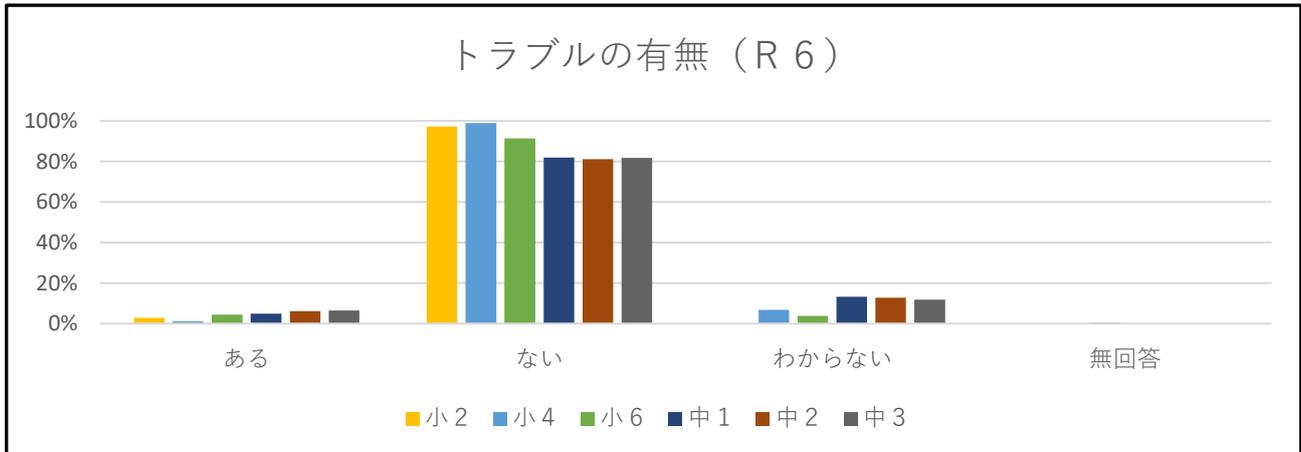
★その都度注意はするが、反抗期もあってなかなか言うことを聞かない。

- ◎ 小中学生ともに、学年を問わず所持の割合は前年度より伸びている
- ◎ 持たせた理由としては、親子の連絡方法として利用するためが上位
- ◎ 持たせて良かった点として、子どもの居場所確認できるためが上位
- ◎ 持たせて心配な点として、視力や姿勢などの健康面
- ◎ 小学生に比べ、中学生の方が深刻な点が見られる

3. トラブルについて

(1) トラブルの有無とその内容

- トラブルは、どの学年でも起こっている。
- 小学校6年生から中学生まで、「誹謗中傷や脅迫行為、いじめを受けた」や「アカウント搾取・不正請求」があったとの回答が数件見られた。
- 「その他」では、友達個人や友達グループ内でのトラブルが挙げられた。



学年	小2	小4	小6	中1	中2	中3	小学計	中学計
誹謗中傷や脅迫行為、いじめ	0	1	3	2	3	2	4	7
性犯罪被害やストーカー被害	0	0	0	1	0	1	0	2
アカウント搾取、不正請求	0	0	0	0	1	4	0	5
個人情報(写真投稿等)の漏えい	0	0	1	0	1	0	1	1
著作権侵害	0	0	0	0	0	0	0	0
フィッシング詐欺	0	0	1	1	1	1	1	3
落として他人に利用	0	0	1	0	0	0	1	0
知らない人から電話やメール応答	0	0	1	0	3	0	1	3
その他	1	0	4	2	4	5	5	11

◇その他

- 小学生：
- ・グループLINEで仲間同士のトラブルに巻き込まれた。
 - ・友達との喧嘩をSNSに書き込んでしまい、学校でトラブルになった。
 - ・スマホがウイルスに感染してしまった。

- 中学生：
- ・ 友達の写真を勝手にグループLINEに載せてしまった。
 - ・ グループLINEで遅くまで利用する子がいて迷惑。トラブルに巻きこまれた。
 - ・ 知らない人に会う約束をしそうになった。
 - ・ スマホ斜視になってしまった。
 - ・ SNSで同級生を誹謗中傷した。
 - ・ 学校の友達とのグループLINEでトラブルが増えた。

(2) トラブルの対応<抜粋>

小学生

- ・ 相手に連絡しようとしたが、連絡がつかず学校へ連絡した。(誹謗中傷)
- ・ 担任の先生が相手との話し合いをしていただいた。(誹謗中傷)
- ・ 見られるサイトを制限した。(フィッシング詐欺)
- ・ グループトークは家族以外とはやらないようにルール決めをした。(誹謗中傷)

中学生

- ・ 学校の先生に相談した。解決しないときはグループLINEをやめさせた。(LINEトラブル)
- ・ 設定が甘かったので、すぐ変更した。(アカウント乗っ取り)
- ・ 誹謗中傷した親と子どもと話し合い解決した。(誹謗中傷)
- ・ 学校に間に入っていたいただき、関わった子の特定と指導をしてもらった。(個人情報)
- ・ インターネット閲覧は利用できないように設定。(フィッシング詐欺)

(3) 注意していること、させていること<抜粋>

小学生

- ・ お友達の家には持っていかない。
- ・ スマホは、親と連絡をとる為の物で遊びには使用しない。
- ・ 何か嫌なことがあったらまず親に話すように。
- ・ 家でのWi-Fi環境でのみの使用。
- ・ 勝手にLINEなどの交換はしない。
- ・ ポジティブな言葉を送る。ネガティブな言葉は送らない。
- ・ 家族以外での連絡のやり取りはしない。
- ・ インストールするアプリと時間は親が管理する。全て管理下で使用させる。
- ・ ネットでやり取りする場合、本名など身元の分かる情報は載せない。
- ・ 親がLINEやアプリをチェックすることを了承済みで、考えて使用する。
- ・ 検索サイトの閲覧状況をチェックしている。
- ・ 知らない人と繋がらないし、知っている人でも相手を選ぶ。
- ・ アプリなどの使用制限、連絡先の交換などの制限する。

中学生

- ・ 自分がされて嫌なことは絶対に書き込んだりしない。
- ・ 人の悪口を書かない。LINEを送らない。コメントしない。
- ・ いつでも親がスマホを勝手に見れる状態にし、気になる点はその都度話す。
- ・ 自分で判断できないことがあれば、すぐに親に相談するように。
- ・ クラスLINEは見るだけで返信しない。
- ・ 「発信したものは絶対に消えない。個人情報を収集し悪用できてしまう。今は大丈夫と思っても家族や将来大切な人を傷つけることもある。」と伝えている。
- ・ 本人に直接言えない言葉はLINEでも使わない。
- ・ パスワードだけは親が決め、子どもには知らせない。課金や新たなアプリを入れたくなった場合に親が承認しないとできなように設定。
- ・ SNSで個人情報を明かさないうこと。写真データをアップロードしないこと。
- ・ トラブルになりそうな内容は携帯にスクショさせている。

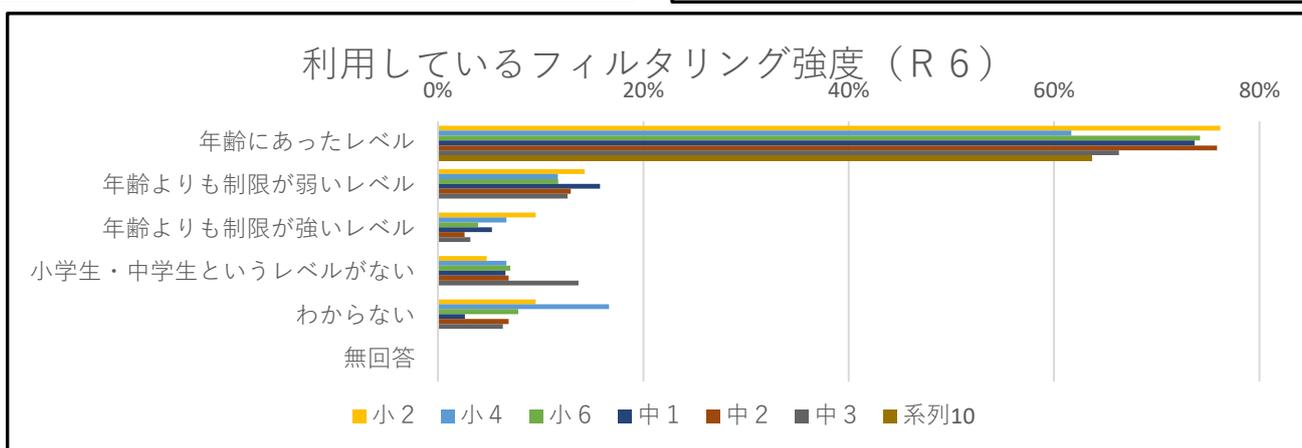
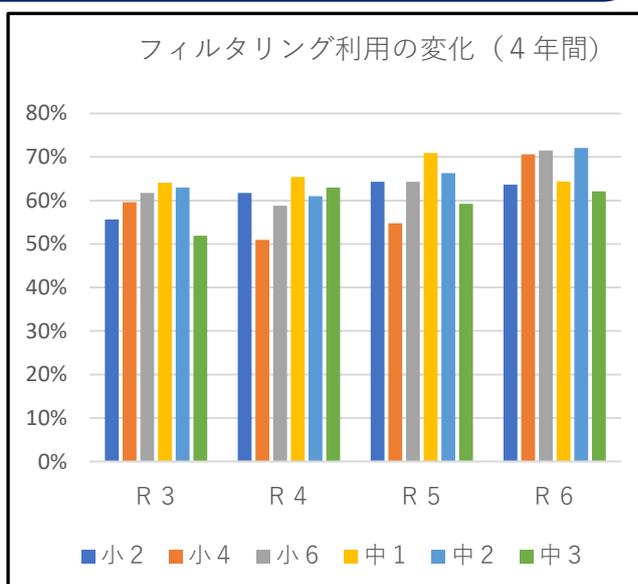
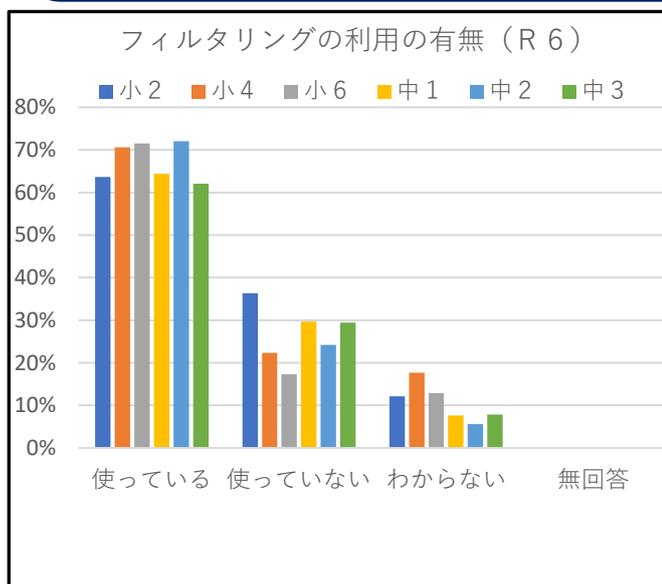
- ・ XやInstagram などの犯罪に巻き込まれる可能性のあるものはインストールしない。
- ・ 変なサイトや勧誘にひっかかるととんでもないことになることを何度も話す。
- ・ 情報の思い込みのないように。ネットへの書き込みなどもしないように。
- ・ 夜遅い時間に友達などと連絡をとらない。
- ・ 所属するグループを限定する。個人レベルでのつながりにとどめる。
- ・ 普段の会話をよく聞くようにし、考え方や行動が逸脱していないか注意を払う。
- ・ セキュリティの知識と情報を鵜呑みにしない判断力、注意力、ダークパターン等の誘導処方知識。

- ◎ スマホの利用に関して、トラブルに巻き込まれた事例がある
- ◎ トラブルの原因としては、SNSによるものが多い
- ◎ トラブルについて、親子間での話し合いが重要
- ◎ 家庭内で注意していることやさせていることは多いが、具体的な対応方法を示している家庭もある

4. フィルタリングについて

(1) フィルタリングの利用の有無とその強度

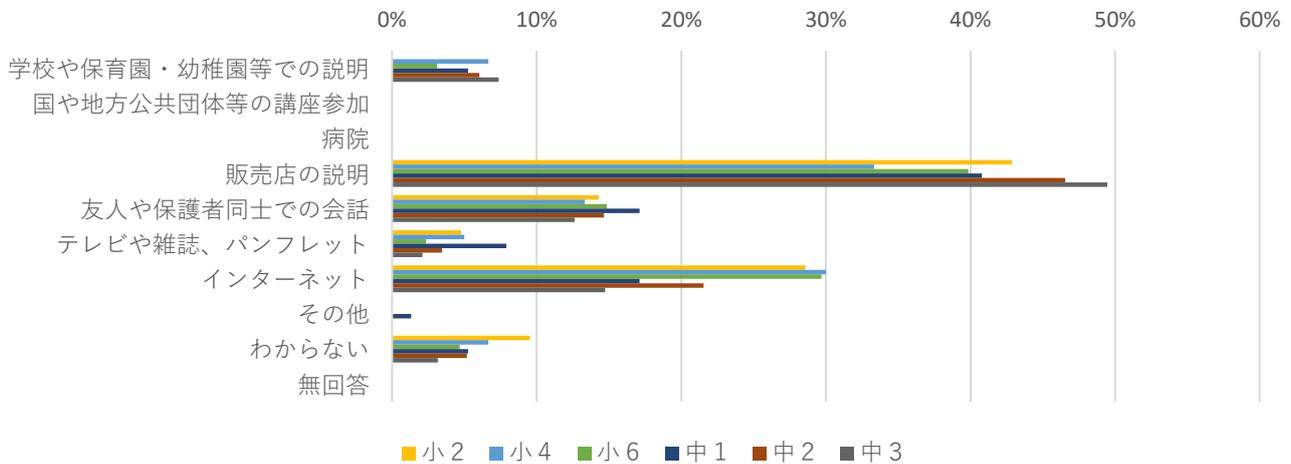
- 小中学生ともに、利用の割合は60%~70%となり、昨年度より伸びている。
- 中学校1年を除きどの学年も利用の割合は高くなっている。
- 利用について、「わからない」という回答についての割合が10~20%ある。
- フィルタリングの強度で小中学生ともに、「年齢にあったレベル」の割合が高い。続いて「年齢より弱いレベル」とした回答の割合が10~20%である。



(2) フィルタリングを使うきっかけ

- 小中学生ともに、「販売店の説明」によって設定した割合が高く、「インターネットで知って」が続いている。
- 「友人や保護者同士での会話」から設定している場合も増えてきている。
- 「その他」では、フィルタリングについて保護者の意識の高さが表れた意見が多かった。

フィルタリングを使うきっかけ (R6)



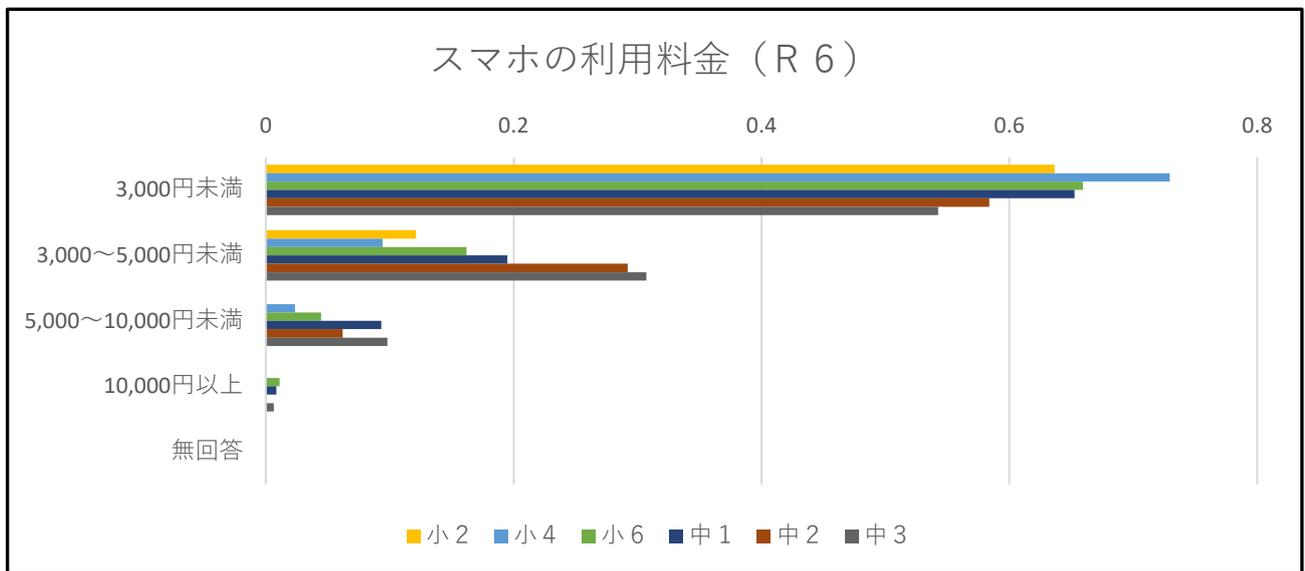
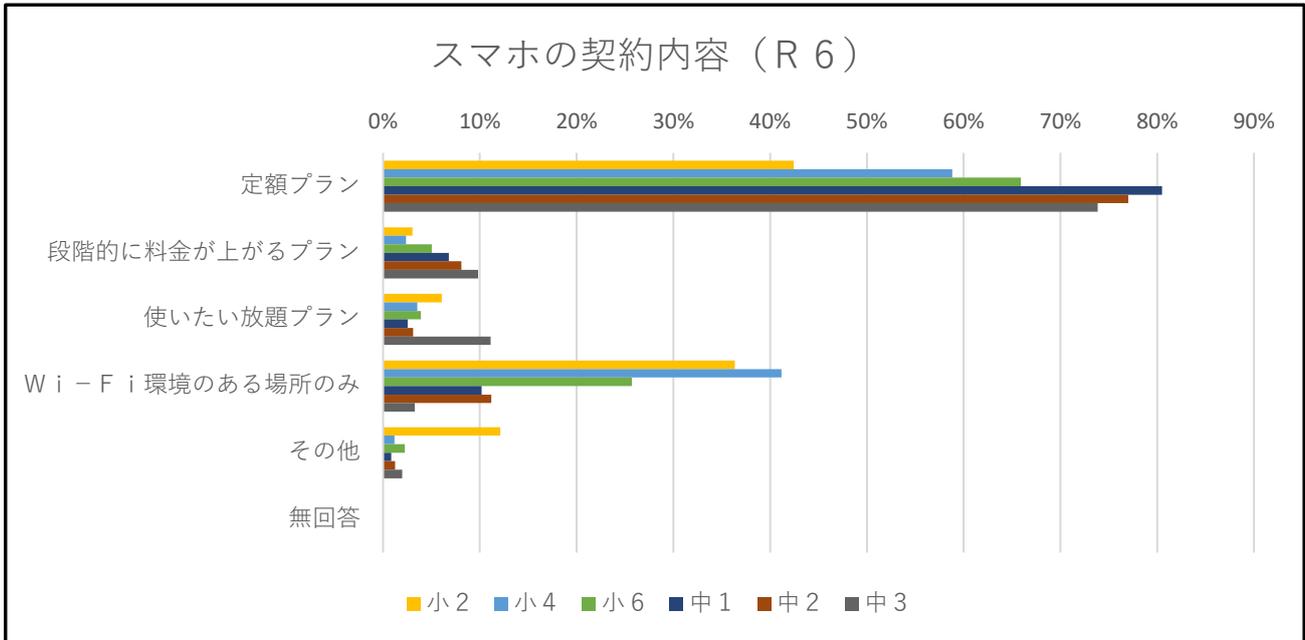
◇その他

- 小学生：
- ・他の兄妹もフィルタリングしているので。
 - ・初期設定で出てきたから。
 - ・あまりにも自分勝手に使うから。
- 中学生：
- ・初めから子どもの判断力には任せられないと感じたから。
 - ・当たり前のことかと思って。当然。
 - ・スマホは連絡ツールのみにしたから。
 - ・フィルタリングは必須事項だと思っている。
 - ・良くないサイトを見ていたのを見つけたから。
 - ・父親の強い希望。

- ◎ フィルタリングの設定状況は年々増加し、どの学年も6割を超えるようになっている。
- ◎ フィルタリングの利用について、「わからない」とした家庭が10%以下
- ◎ フィルタリングの強度は年齢に合わせたレベルが多いが、年齢よりも弱いレベルの利用が15%前後である。
- ◎ 子どもの安全のためにフィルタリングを積極的に利用する保護者もいる
- ◎ フィルタリングの重要性を広めることが重要

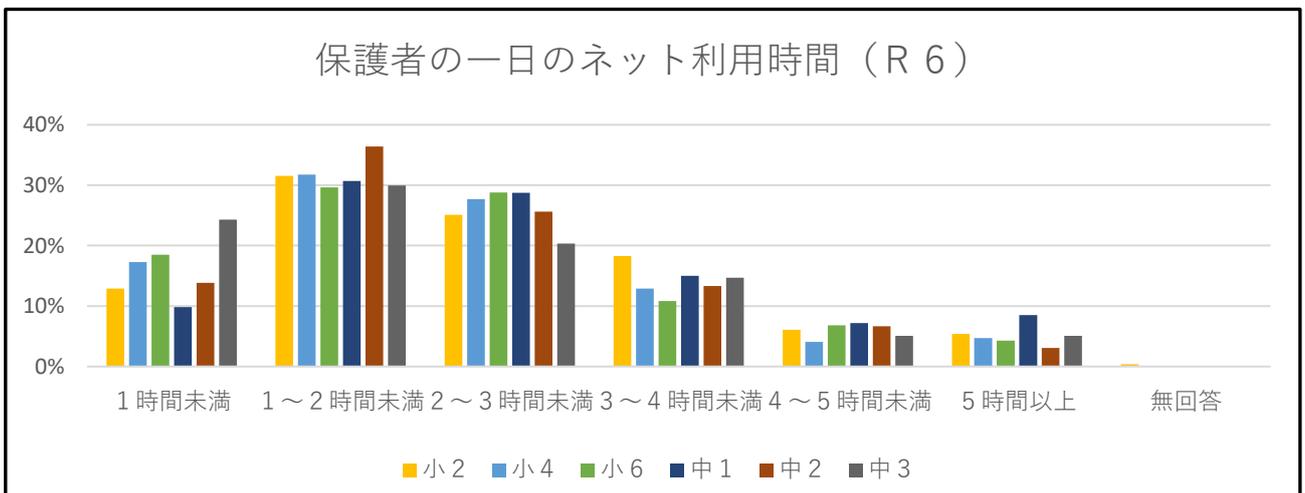
4. スマホの契約内容や利用料金

- 小中学生ともに、定額プランの割合が最も多い。
- 小学生では「使いたい放題が」減り、「Wi-Fi環境のある」が大幅に伸びている。
- 小中学生ともに、利用料金は3,000円未満が最も多く、利用料金の支払いは保護者が最も多くなっている。
- 学年が上がるほど利用料金が高くなっている。

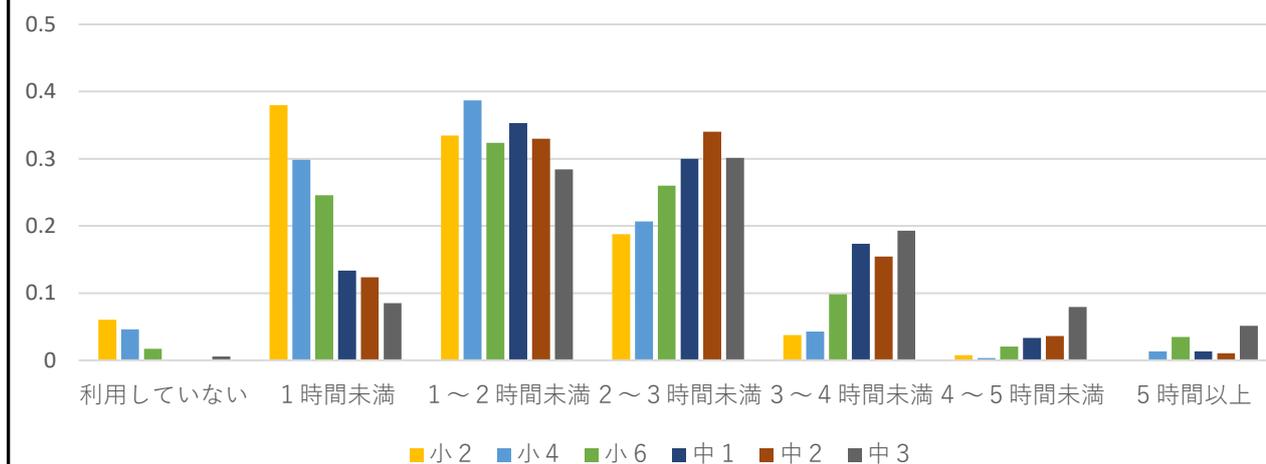


5. 保護者自身のスマホ利用

(1) 一日のインターネット利用時間



児童生徒の平日のネット利用時間（R 6）



（2）お子さんの前でスマートフォンを使用するときの注意点＜抜粋＞

小学生

- ・ 話しかけられた時は、スマホを置いて話を聞けるようにする。
- ・ 子どもから話を聞くときは、子どもの目を見て話をちゃんと聞く。
- ・ 食事の際と家族団欒の際は使用しない。
- ・ パスワードは見られないように。
- ・ 食事中や団欒の時はスマホを触らない。
- ・ 必要な連絡以外は子どもの前ではスマホを見ない。
- ・ 子どもの勉強や宿題中はできるだけ使用を控える。
- ・ 目とスマートフォンの距離。使用時間。

中学生

- ・ 食事中、会話中は使用しない。
- ・ 子どもが勉強しているときはできるだけスマホを触らない。
- ・ 子どもとの約束は親も守るようにしている。
- ・ 調べていること、見ている動画について話し、共有する。
- ・ 隠すように使わない。可能なことは子どもと同じルールで使う。
- ・ 子どもと会話する時は、画面を閉じ顔を向けて話を聞く。
- ・ 過激な内容の物などは見ない。
- ・ どんな内容であっても偏った見方をしない。正しいとは限らないので、誰かに聞いたり調べるようにする。

状況調査の概要

時期 令和6年9月～10月

対象 小2、小4、小6、中学生
各校：該当学年の1クラス
回答は保護者（対象は児童生徒）

小学生	948人（抽出率19.8%）
中学生	525人（抽出率10.4%）
合計	1,473人（抽出率15.0%）

【市内統一事項】

※スマホ・ゲーム機などの通信機器（以下、スマホなどとする）

- 1 使用の時間帯
 - ・午後10時から翌朝6時までは、スマホなどの通信機器を使用しません
＜小学生は午後9時～翌朝7時＞
- 2 ルールの設定
 - ・スマホなどは、学校や家庭のルールに基づいて使用します
＜学校に持っていきません＞＜保護者と相談してルールを決めます＞
- 3 モラルの遵守
 - ・公共のモラルを守り、電車やバスの中では通話をしません
 - ・「ながら」利用をしません＜自転車乗車中・歩行中・食事中など＞
- 4 個人情報の保護
 - ・SNSに個人が特定される危険がある情報（名前、住所、学校名、顔写真など）を投稿したり、他人の悪口や人を傷つける内容の書き込みをしたりしません
 - ・自分が言われたり、されたりして嫌だと思ふことは絶対に書きません
- 5 困ったときの相談
 - ・なりすましや知らない人からのメッセージなどに注意します
 - ・心配なことは保護者や大人に相談します